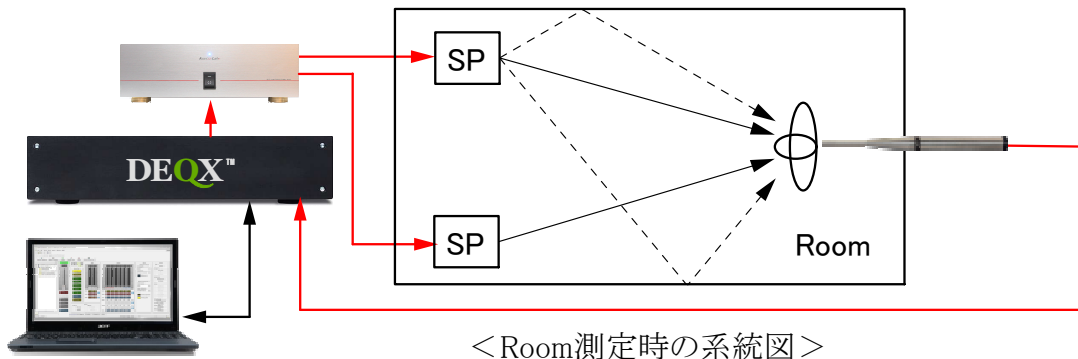


# DEQXの仕組み

## ■ 音が良くなる理由 - その3「室内音響特性」



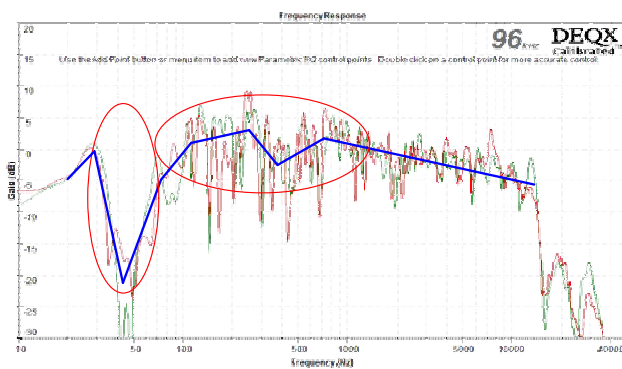
### <理由-3>

最後に音質を歪めてしまう難題「室内音響特性」を劇的に改善

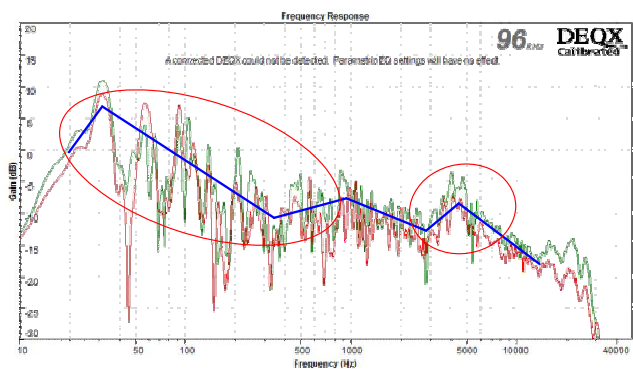
1. 理想的なスピーカーで再生ができてその音を直接聴くことはできない
2. 壁の反射や吸収、定在波、空間的な共鳴や減衰を受けた再生音となる
3. 音響設計を基に造られたオーディオ専用ルームにも落とし穴(図1~3)
4. 建築的な手法で改善すれば多額の経費が掛かり、結果は保証されない

DEQXは最初に補正したスピーカーで室内を精密に測定し、劇的に改善します

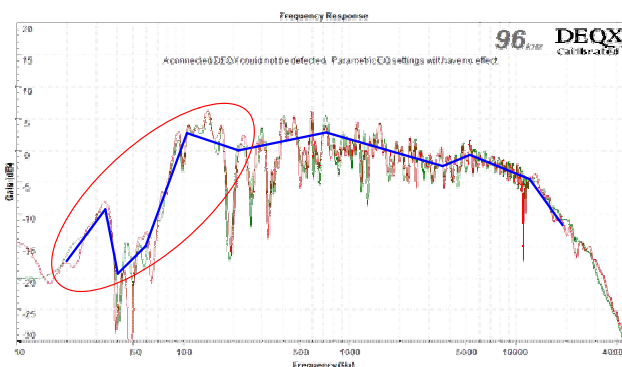
### 補正を行う前の室内音響特性の実例



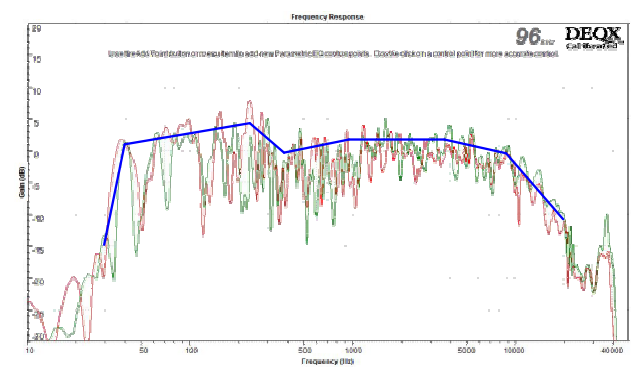
[図1]オーディオ専用ルーム: 中低域に課題



[図2]オーディオ専用ルーム: 全帯域に課題



[図3]オーディオ専用ルーム: 中低域に課題



[図4]10畳和室: 比較的良好な特性